令和元年６月定例

伊達市教育委員会　会議録

令和元年６月５日開催

 令和元年６月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時　　令和元年６月５日（水）13時30分～

２．開催場所　　保原本庁舎東棟２階　201会議室

３．出席者　　　教育長　菅野　善昌

１番　太田　康一　　委員

　２番　髙野　保夫　　委員（教育長職務代理者）

　　　　　　　　３番　菅野　千惠子　委員

1. 欠席委員　　４番　三品　清重郎　委員

５．説明のため出席した者

　　　　　　　　教育部長　　　　　　　　　　田中　清美

　　　　　　　　教育総務課長　　　　　　　　原　好則

　　　　　　　　教育総務課主幹（施設担当）　佐藤　真

　　　　　　　　生涯学習課長　　　　　　　　坂本　直樹

　　　　　　　　学校教育課長　　　　　　　　阿部　裕好

　　　　　　　　こども部長　　　　　　　　　半沢　信光

　　　　　　　　こども支援課長　　　　　　　谷口　信高

　　　　　　　　こども育成課長　　　　　　　森林　敏昭

６．本委員会書記

　　　　　　　　教育総務課総務企画係長　　　冨田　昭子

　　　　　　　　教育総務課総務企画係主事　　渡邉　美佳

1. 日程１　開　　会

**○菅野教育長**これより令和元年６月定例伊達市教育委員会会議を開催いたします。本日は４名出席しておりますので、会議が成立しました。

８．日程２　議事録署名委員の指名

**○菅野教育長**　続きまして議事録署名の指名に移ります。本日の議事録の署名は１番太田委員と、２番髙野委員にお願いします。ここで５月伊達市教育委員会会議の議事録について、１番太田委員と３番菅野委員に署名いただきましたので、報告します。

９.日程３　会議の進め方

**○菅野教育長**　本日の会議の進め方について、原教育総務課長から説明をお願いします。

**○原教育総務課長**　資料により説明

　議事日程

１　開　会

２　議事録署名委員の指名

３　会議の進め方

４　傍聴の許可

５　議　事

　　　議案第24号　伊達市社会教育委員の委嘱について

　　　議案第25号　伊達市立学校通学等区域に関する規則の一部を改正す

　　　　　　　　る規則について

　　　議案第26号　伊達市立学校通学区域外就学許可の特例に係る小規模

　　　　　　　　特認小学校設定要綱の一部を改正する告示について

　　　議案第27号　令和元年度伊達市一般会計(教育委員会関係)補正予算

　　　　　　　　について

６　報告と協議

　　　（１）教育長及び各課から

　　　（２）各教育委員から

　　　（３）その他

７　閉　会

10.日程４　傍聴の許可

**○菅野教育長**　傍聴の許可に入ります。傍聴の許可を求める方はいらっしゃいますか。

**○冨田総務企画係長**　いらっしゃいません。

11．日程５　議　事

**○菅野教育長**　それでは議事に入ります。「議案第24号　伊達市社会教育委員の委嘱について」を議題とします。生涯学習課長から説明をお願いします。

**○坂本生涯学習課長**資料により説明。

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第24号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**○髙野委員**２年前の５月10日の定例教育委員会時において、委嘱にかかる任期の議論は既になされています。当時９期の委員がおり、あまりにも長い任期は組織の若返りを妨げてしまうことに繋がるため望ましくないとし、５期10年の目安を設けた経過があります。社会教育委員の職務の内容の見直し及び地域の活性化等の面からもよく考えていかなければなりません。新潟県では社会教育委員の活動について手引きを作成しています。社会教育委員に任命されても役割や、社会教育活動のテーマや課題についてよく分からないとの声があがったり、会議の回数が少なく職務を果たしていると言えるのかとの意見が出たりしたことで作成されました。こうした動きが全国的に出てきています。長期で務めているために地域への影響力が大きい人物が多いとは思いますが、地域の活性化を図る面からも任期についてよく考える必要があると考えます。また、女性の社会教育委員について、伊達市には今回３名いるようですが全国的には少ない傾向にあります。女性の社会教育委員のあり方についても議論していく必要があるものと考えます。

**○菅野委員**　社会教育委員を務める人物の肩書について、偏りがあるように感じます。小中学校校長会の会長やPTAの連絡協議会会長が多く見受けられます。また、霊山地区から選出されている委員を見ると、２人とも文化団体連絡協議会の関係者です。霊山町時代から含めると20年以上社会教育委員を務めているのではないでしょうか。社会教育委員を辞める時にどなたかご推薦いただくと思いますが、その際にその方の身近な人選をしてしまうことが偏りの原因ではないかと考えます。固定の団体ではなく、もっと広い範囲で人選をするよう心がけていただきたいと思います。

**○太田委員**　月舘地区に９期目の方がいるということですが、ご本人に日頃から様々なお話をお伺いしています。以前お話した際には、月舘学園が一段落つくまでは社会教育委員に携わる心づもりのご様子でした。ご自身はどちらかと言えば地域の小学校を守りたい立場の方でしたので、そうした部分からも思い入れがあるのだと思います。菅野委員から、肩書に偏りがあるとのお話でしたがあて職のようになってしまっている面もあるのではないでしょうか。市の広報等で呼びかけることで、広く人材を募集することが出来るのではと考えます。

新陳代謝を図り、伊達市民の意見を吸い上げるためにも様々なことにチャレンジしていく必要があると考えます。

**○菅野教育長**社会教育が担う役割をしっかりと確認し、活性化にふさわしい様々なジャンル・立場の方のバランスをとりながら委嘱していくことが大切です。男女のバランス等についてもお話を頂きました。今回の議案については、再選するにも様々な日程等の関係上次回教育委員会にて議論するのが難しいため、後程社会教育委員の方の任期等を考慮した案を教育委員の方々にお送りするような形を取らせていただきたいと思います。

**○坂本生涯学習課長**　任期の問題については重々承知しており、月舘の総合支所にも推薦をお願いしたところ、なんとか１名の方を見つけて社会教育委員をお願いしたという状況です。できうる限りの調整をさせていただきましたが、他に引き受けて頂ける方がいないのが現状です。

**○髙野委員**社会教育委員等の任期が必要以上に長いと、地域への影響力が非常に大きくなってしまう危険があります。また、地域の後継者が育たないことにも繋がります。一定の歯止めが必要な問題ですし、２年前から定例教育委員会に挙げていた問題です。教育長の一定の見直しを図るといった趣旨の発言を大事にしていただければと思います。

**○菅野教育長**今回の社会教育委員委嘱に関係するご意見は、年数の問題だけでなく社会教育委員の職務そのものが持っている重要性をしっかりと踏まえていく必要性についても示して頂きました。私も生涯学習課長と一緒に見直しを図りたいと考えます。今回は保留させていただき、会議開催の都合等もありますので、教育委員の皆さんには後日ご承認いただく形にしたいと思います。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案については、後日教育委員の皆さんに承認を頂く形にしたいと思います。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第25号　伊達市立学校通学等区域に関する規則の一部を改正する規則について」と「議案第26号　伊達市立学校通学区域外就学許可の特例に係る小規模特認小学校設定要綱の一部を改正する告示について」については、関連しますので一括として議題とします。学校教育課長から説明をお願いします。

**○阿部学校教育課長**　資料により説明。

**○菅野教育長**　ただいま説明あった議案第25号と議案第26号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**○髙野委員**　小国小学校等では、遠くから通っている子どもがいるかと思います。小国小学校も特例にかかる小規模特認校設置要綱に包括されるということでよろしいでしょうか。

**○菅野教育長**　はい。改正前から小国小学校等は該当しております。今回の改正は中学校を含む月舘学園が追加されることによって、標記が特認小学校から特認校へと変化したということです。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第25号　伊達市立学校通学等区域に関する規則の一部を改正する規則について」と「議案第26号　伊達市立学校通学区域外就学許可の特例に係る小規模特認小学校設定要綱の一部を改正する告示について」は、原案のとおり可決されました。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第27号　令和元年度伊達市一般会計(教育委員会関係)補正予算について」を議題とします。教育総務課長から各課説明をお願いします。

**○原教育総務課長**

**○坂本生涯学習課長**

**○こども支援課長**　　　　資料により説明

**○菅野教育長**　ただいま説明あった議案第27号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

教育総務課関連

**○髙野委員**　霊山中学校について、玄関の右側が旧校舎ということでよいですか。

**○佐藤教育総務課主幹**　はい。玄関から入って右側が旧校舎で、東側の部分が新しい校舎部分です。

**○太田委員**　霊山中学校の補修に関して、子を持つ親として、耐震化等の工事をもっと早くに行ってほしいと考えます。優先順位や費用の面から鑑みて、一度に工事を行うということは難しいと思います。ですが、安全な環境下で子ども達に勉学を行って欲しい、学校が安全な場所であって欲しいという思いは親であれば持つ思いです。他の事業を差し置いても耐震化はできる限り早く行うべきと考えます。地震が起きても伊達市立の幼稚園や小・中学校等の中にいれば安心だという状態になるよう、なるべく早くきちんと耐震化等の工事が進むようお願いします。

**○佐藤教育総務課主幹**　今回の補正予算案にて、設計の予算について計上しました。設計が終わり次第、耐震化に関して進めて参りたいと考えます。子ども達の環境を良くするためにも、皆様にご協力いただけたらと思います。

**○菅野委員**　霊山が学校統合の波に乗れなかった大きな理由の一つに掛田小学校の耐震性への不安があります。太田委員の言うように、子ども達を安全な場所で学ばせたいという家庭の思いがあってのことです。しかるべき形で進めていただけたらと思います。また、掛田小学校の地質調査業務という名前で予算が計上されていますが、これは増築部分だけの調査でしょうか。今までの校舎等の部分のどこかに問題があったということでしょうか。

**○田中教育部長**　増築部分の校舎についての地質調査です。

**○髙野委員**　耐震化が必要な学校は霊山中学校で最後でしょうか。

**○佐藤教育総務課主幹**　霊山中学校の他には大石小学校が残っております。

**○原教育総務課長**　耐震化について今回の補正予算に計上しましたので、できるだけ早く耐震化を進めて参りたいと思います。大石小学校につきましては、耐震化を進めるか、統合するかの協議をしている段階にあります。今のところ、出来るだけ早く統合を進める方向で考えております。

**○菅野教育長**　以前一度統合に関しての話は地元にしております。現在耐震化に関して残っているのが大石小学校のみです。子ども達が学ぶ場ですので、安全最優先で取り組んで参りたいと思います。

**○田中教育部長**　補足説明として、校舎の耐震化と同時に、校舎内の大規模改修も進める計画を持っておりました。具体的には上保原小学校の耐震化と大規模改修、トイレの様式化を合わせて行う予定でした。ですが2020年までが緊急対応３ヵ年計画ということで文科省が定めております。それに間に合わせるように耐震化の工事へ指導を受けて参りました。現在は大規模改修と耐震化については分けて考えております。耐震化について2020年を目途に大石小学校以外は完成させたいと考えております。一方、大規模改修についてはその後となってしまいます。同時に進行するのではなかったのかとのご意見もあるかとは思いますが、まずは耐震化の方を進めさせていただけたらと思います。

**○太田委員**　富野小学校の利活用に伴う土地調査があるとのことですが、廃校になった小学校について教育委員会の管轄では無くなると以前お聞きしたように思います。教育委員会の管理は廃校になってからいつまで等の規定はあるのでしょうか。

**○田中教育部長**　現在は教育財産の位置づけです。敷地面積等を確定させてから市の財産として移管していく予定です。本来統合等により廃校となった小学校等については教育財産から普通財産へと所管替えが行われるのですが、市長部局の方でも目的を持たない施設は受け入れられないとのことで、整理がつくまでは教育委員会の方で管理を行っているかたちです。

こども支援課関連

**○太田委員**　高等職業訓練促進給付金事業とありますが、これは借用ではなく、給付ということなのでしょうか。

**○谷口こども支援課長**　課税世帯と非課税世帯とで若干異なりますが、給付です。課税世帯では月70,500円、非課税世帯では月100,000円を支給しており、修学期間に毎月支給するような形になります。職業に繋がる修学を支援することによって、生活の負担を軽減するという意図をもっています。ですので、一定程度の資格取得を目的とした修学が要件となります。

**○太田委員**　後々伊達市や伊達市の関連施設に就職しなければならない等の制約はあるのでしょうか。

**○谷口こども支援課長**　ありません。市民の自立を目的としておりますので、そうした制約はございません。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第27号　令和元年度伊達市一般会計(教育委員会関係)補正予算について」は、原案のとおり可決されました。

12.日程６　報告

**○菅野教育長**それでは日程６、報告に移ります。教育長からの報告です。

**○菅野教育長**資料により報告

１　年度初め（４月～６月）を終えて

　○円滑なスタート、児童・生徒の学校適応に向けた充実した指導

　○ゴールデンウィーク（１０連休）後の例年と変わらない落ち着いた生活

２　令和２年度使用小学校教科用図書採択に向けて

（１）採択に向けた予定

　　○６月下旬～７月中旬：採択地区協議会による採択事務

　　○７月下旬　　　　　：各教育委員会において採択の決定

（２）教科書の展示（伊達地区）

○令和元年６月１４日（金）～６月２７日（木）１４日間

○伊達教科書センター（伊達市立図書館）

３　各種施策・事業等の推進

（１）通学合宿体験活動

　　①　ねらい

○伊達市キャリア教育構想の基盤をなすもの

　　　○児童生徒の社会的自立・職業的自立に必要な能力態度を育み、自己実現を目指して未来を切り開く力を育てる。

　　②　概ねの予定

　　　○令和元年５月下旬　：校長会役員会において概要の説明と協力依頼

　　　○　　　　６月下旬　：市各園長、小・中学校長会議においての説明

　　　○　　　　８月下旬～：各小学校において保護者へ説明（教育委員会による説明）

　　　○　　　　９月下旬　：実施日の希望調査（各小学校へ）

　　　○　　　 １１月～　：各小学校の実施日の調整と決定

（２）伊達市青少年育成市民会議

　　①　立志式・講演会（市内全中学校合同実施）：令和２年１月下旬（午前中）予定

　　②　お祝い会（各中学校ごと）：令和２年１月下旬～２月上旬

　　③　伊達市子ども論語塾：令和元年５月１８日（土）～令和２年３月７日（土）１１回

（３）伊達市児童合唱団の結成

　　①　ねらい

　伊達市内小・中学校の児童生徒から団員を募り、合唱を通して音楽性を高め、郷土・地域社会の文化の向上に寄与する。

　　②　主な活動

　　　○定期演奏会

　　　○伊達市オラトリオ「オンザロード」参加

　　　○広瀬川親水公園夏祭りオラトリオ「水のほほえみ」参加

　　　○地域行事への参加及び諸施設への慰問訪問　　　等

４　各種行事等への参加と協力（豊かな人間性・社会性、健やかな身体、地域への誇りと愛着）

（１）教育課程内活動状況、各種行事への参加

※　児童生徒の一生懸命に取り組む姿（円滑な運営、児童生徒の参加態度　も立派）

①　小学校・・・運動会（異例の酷暑への対応、地域やＰＴＡとの連携）

　　②　中学校・・・県北地区中体連陸上競技大会（県北地区予選会）

　　　※各種目上位６位まで県大会出場

　　　○男子共通８００㍍　第１位　羽賀龍生（桃陵中３年）　2’06”06

（２）教育課程外活動状況

　　①　きらめき事業

「伊達ジュニアウィンドオーケストラと東京芸大ウィンドオーケストラとの合同演奏会」

○令和元年５月２６日（日）保原体育館

各中学校吹奏楽部、合唱部他　多くの関係者に感謝…感動的な演奏

②　チャレンジデー2019

○令和元年５月２９日（水）（伊達市２８．２％、羽島市６１．３％）

５　その他

（１）６月教育長の部屋

（２）学校だより、新聞報道等から

（３）その他

**○菅野教育長**ただいまの報告について、ご質問、ご意見のある方の発言をお願いします。

**○菅野教育長**それでは、ないようですので、教育要覧に掲載いたします令和元年度行政経営方針（案）について報告させていただきます。

**○原教育総務課長**　６月発行予定の教育要覧に掲載する令和元年度教育行政経営方針について見直しをしました。ご意見等いただければと思います。基本方針につきましては、昨年度改正した教育大綱を上位計画として文言を修正しています。また、子育て・文化関係の記述も追記をし、大綱や伊達市第２次総合計画・後期基本計画の意図を汲みつつ見直ししております。以前はこども部の事業が後ろに配置されていましたが、総合計画等の施策に合わせる形で、こども部の施策を１番に配置しております。また、組織改編により課名等に変更が生じたため、該当する箇所は修正しております。各課今年の取り組み等について変更しております。各課から変更点について説明をお願いします。

**○谷口こども支援課長**

**○森林こども育成課長**

**○阿部学校教育課長**

**○原教育総務課長**

**○坂本生涯学習課長**各課変更点について説明

**○菅野教育長**　ただいま報告あったこのことについて、ご意見、ご質問のある方の発言をお願いします。

**○髙野委員**　基本事業２－４の学校図書館機能活性化事業について、学校教育が担当となっています。２－４自体は教育総務課が主管するような内容であるからして、基本事業２－１確かな学力を育む教育の推進および「生きる力」を育む学校教育の充実へ移動する方がよいのではないでしょうか。

**○阿部学校教育課長**　内容的には、学校司書と司書教諭が集まり情報共有をする取り組みであり、２－１の方が馴染む内容ではあります。

**○原教育総務課長**　２－１の中にも、読書活動推進事業という形で専門的知識をもった司書を配置することで確かな学力の推進へとつながるといった意図をもった事業があり、２－４についても、学校図書も含めた教育環境の充実を図るため司書と連携を図り活性化に繋げるという事業もあります。

**○菅野教育長**　図書館機能の活性化に関わる事業が２－１と２－４に分かれてしまっていますね。図書館機能活性化については、学力向上の面を考えると２－１に配置することが適していると思います。この箇所については検討させていただければと思います。

**○菅野教育長**　総合計画と教育大綱および教育要覧に掲載されるものに整合性が取れていて、教育委員会としてどこに重点があるか、どのように事業を展開していくのかについてはっきりと分かりやすく編集できるようにしたいですね。

**○髙野委員**月舘学園のスクールコミュニティは、従来の保原・梁川のものとは異なる特色を持つのでしょうか。

**○原教育総務課長**　従来は小学校のみとの連携でした。しかし、月舘学園については小中一貫校ですので、中学校との連携も含んだより幅広いサポートを行うような形になる予定です。

**○菅野教育長**今年度について、開設準備員ということで職員を２名配置しております。他のところにはない取り組みを行っていければと考えています。

**○髙野委員**　伊達小学校に関してはどのようなスクールコミュニティになるのでしょうか。保原や梁川と似たようなかたちになるのでしょうか。

**○原教育総務課長**　スクールコミュニティの運営には地域の方の協力が不可欠です。そのあたりも交えて、これから検討します。

**○原教育総務課長**　先ほどの学校図書館機能活性化事業に関して後期計画を確認したところ、２－１に統合されておりましたことを報告します。

**○太田委員**　給食事業に関して、食育の一貫として給食の時間にミニ講話を行うとあります。この事業に関して、給食の時間を削ってしまうことに繋がらないでしょうか。また、給食の時間について、配膳に時間を取られてしまい、食べる時間が短いという声があります。どのような対応をする予定でしょうか。

**○原教育総務課長**　食育を知ってもらうことが大事です。現在は、５～６分のミニ講話について給食を食べながら講師から話を聞くようなかたちを取っています。今後も忙しいというご意見があがってくるようでしたら、時間や場所について検討していきたいと思います。

**○菅野教育長**　年度当初は子ども達も準備に慣れず時間がかかってしまうこともあるかとは思いますが、だんだん準備に慣れてくることで給食の時間も確保できるようになってくるのではないかと考えます。食育の指導や、食べる時間の確保ができるような能率的な準備の指導、休憩時間の確保については学校側も苦慮している所です。

**○菅野教育長**それでは、各課からの報告をお願いします。

**○原教育総務課長**　　　今後の日程等について報告

**○阿部学校教育課長**　　特になし

**○坂本生涯学習課長**　　特になし

**○森林こども育成課長**　特になし

**○谷口こども支援課長**　５月定例教育委員会にて報告しましたファミリーサポート事業について、その後事業説明会を２回行いました。現状、お願い会員が４名、まかせて会員が９名となっています。お願い会員やまかせて会員の数は今後増えていくものと予想されます。まかせて会員に関して、今週から研修が始まる予定です。７月あたりからマッチングできればと考えております。

**○菅野教育長**　ただいま報告あったこのことについて、ご意見、ご質問のある方の発言をお願いします。

**○菅野教育長**ファミリーサポート事業について、事業説明会等での参集者の数や様子はどうでしたか。

**○谷口こども支援課長**　２回ともに20～30人でした。割合としてはまかせて会員を希望される年代の方が多かったように思います。お子さんをつれた参加者も少し見受けられました。

**○髙野委員**　教育委員が直接学校に訪れる学校訪問について、学校現場に訪れる機会を計画して頂きたいと思います。認定こども園や小学校、中学校について年間どのくらい訪問できるのかについて計画を立てて実行したいと考えます。学校現場に足を運び、子ども達の生の様子や先生方の苦労の様子を見る機会を積極的に提案いただければと思います。

**○菅野教育長**教育委員からの報告事項はありますでしょうか。

**○髙野委員**総合教育会議が７月３日にありますが、教育委員会としてどのような話を行うのでしょうか。決まっている議題等はあるのでしょうか。

**○原教育総務課長**　現在各課で取りまとめを行っております。その中で、いじめの防止策等について主に考えておりました。

**○髙野委員**　テーマについて、教育委員会として事前に意見をすり合わせながら総合教育会議に臨むべきではないでしょうか。もっと戦略的にテーマの準備を進めるべきではないでしょうか。

**○菅野教育長**　総合教育会議にて議論するテーマや議題等については教育部・こども部で現在取りまとめて検討中でした。教育委員の方々から何か希望のテーマ等はありますでしょうか。

**○髙野委員**　伊達市の市民憲章にある５つのテーマについて毎年１つずつ取りあげながら、伊達市の将来についての作文を書く取り組みがあります。これを書いたままにするのではなく、子ども達の発想を生かして市長と意見交換を行う場を設けてみるのはいかがでしょうか。小学校５、６年や中学校２、３年くらいの子ども達と市長との懇談会のような、直接意見交換を行うような場があればよいのではないかと考えます。

　また、統合した後の施設や跡地利用についての問題が挙げられます。現在の廃校利用の状況について、その地域の住人だけでなくこれから統合が予定されている霊山地域の住人も注目しています。統廃合後の将来像について、学校や子どもがいなくなった後の地域を伊達市がどのように扱っていくのか、どのように活性化を行うのかについて地域の方に示していく必要があります。廃校になった学校の利活用についてのプランを示していくことも大切かと思います。

**○菅野教育長**　私も市長部局と教育委員会で互いに議論を重ねていくことが重要になってくると思います。統廃合後の学校の利活用について田中教育部長より補足をお願いします。

**○田中教育部長**　廃校利用の取り組みを開始して３年目になります。民間の事業者による利活用を進めておりますが、現在富野小学校以外は決まっていない状態です。もう一度行政の利活用について調整を進めるとされており、教育委員会は、現在旧泉原小学校に展示しています国の重要無形文化財に指定された養蚕関連についての展示施設として１校の利活用を検討中です。その他の議題につきましても総合教育会議の議題として整理しつつ会議の前には教育委員の皆さんにお示しできればと思います。今後の霊山地域の統廃合につきましても、活性化している実績が見えないと住民が不安になってしまい、賛成いただけない部分もあるかと思います。

**○菅野委員**　霊山地域では、既に廃校になった小学校等を区民センターや地域の交流館として利用しています。掛田小学校の耐震化も進み、地域では統合の空気が少しずつではありますが漂っています。工事中に説明会を行うのではなく、平行して徐々に説明して欲しいと思います。説明会では、他地域の廃校の利活用について、地域にどのような変化がもたらされるのか等に関する具体的な資料を示していただければと思います。また、今のうちからそうした具体的な話について地域に示すことが大切だと考えます。

**○髙野委員**　霊山地域の小学校は掛田小以外ではどのくらいの人数が入学しているのでしょうか。

**○菅野委員**　小国小２名、大石小０名、石田小３名です。本来この地域に通うべき子どもが掛田小学校に入学している事実もあります。現実的には掛田小学校への統合へ向いているのですが、反対する地域の声が大きいのが現状です。

**○菅野教育長**　他学区への入学については、正式な手続きの下に許可を出しておりますので、教育委員会としては正式な入学として受け付けております。他の統廃合を行った小学校の利活用については、現状等についてまとめてご提示していければと思います。

**○髙野委員**　廃校利活用について、どのように利活用するのか、またその計画を外部に依頼していますね。その提案された計画について市が会社と住民との間に入って調整等を行う手法を取るために、手間取っているのでしょうか。

**○田中教育部長**　まず行政で利用する案について、各課に照会をかけましたが、利用の予定が無い、または具体性が無いとの回答でしたので、サウンディング調査ということで民間に提案を頂くような形になっておりました。先ほども申し上げました通り、富野小学校以外は利活用について決まっておりません。もう一度行政内で検討を行う予定です。教育部としては、文化財の保管という形で活用したいと考えております。

**○髙野委員**　とある学校の建物等を壊して新しく作るという計画もあるとお聞きしましたが。

**○田中教育部長**　それにつきましては、校舎自体を壊すのではなく、耐震上問題のある屋内体育館を取り壊す予定です。健幸都市の中山間モデル地域ということで、交流スペースや多目的ホールを整備する計画を進めております。

**○髙野委員**　統廃合した小学校は、五十沢小学校以外の体育館は古いものばかりだったので少し心配でしたが、そうした計画が進んでいるのですね。

**○田中教育部長**　菅野委員の先ほどの質問にもかかってきますが、霊山地域の大石小学校は校舎自体の耐震力が弱いので、基本的には除却の考えで進めております。また、月舘小学校につきましても、学園として統合しますので耐震化はせず除却の考えを持っている所です。

**○菅野委員**　統合することを前提として進めているということでしょうか。

**○田中教育部長**　はい。そのように考えております。

**○菅野教育長**　ご意見、ご質問はほかにはございませんか。それでは、ないようですので、７月の定例会等の日程について、事務局から説明願います。

**○原教育総務課長**教育委員に出席していただく行事についての報告。

　　　　　　　　　（総合教育会議）

　　　　　　　　　　日時：令和元年７月３日（水）15：30～

　　　　　　　　　　場所：保原庁舎東棟３階　庁議室

　　　　　　　　　（東北六県市町村教育委員・教育長研修会）

　　　　　　　　　　日時：令和元年７月５日（金）

場所：けんしん郡山文化センター

（県市町村教育委員会連絡協議会伊達支会

県北ブロック研修会）

日時：令和元年７月10日（水）13：30～

場所：国見町観月台文化センター

（次回７月定例会　開催予定日）

　　　　　　　　　　日　時　令和元年７月23日（火）13時30分～

　　　　　　　　　　会　場　保原庁舎東棟２階　201会議室

**○菅野教育長**　ただいまの報告、及び全体を通して、ご質問、ご意見等ございませんか。その他ないようでしたら、閉会に移ります。本日は以上で終了いたします。ご出席ありがとうございました。

13．日程７　閉　　会　15時45分

　上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

　　　　令和元年６月５日

　　　　　　　　　　　　議事録署名人

　１番委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２番委員

　　　　　　　　　　　議事録調製者　教育総務課総務企画係　渡邉　美佳